



# 営農サポート通信 第48号

平成28年2月 JA都城：営農サポーター（TAC）



Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

天候が安定せず、作業が遅れているという話をよく耳にします。例年であれば、インフルエンザが大流行していてもおかしくない時期なのですが、今年はピークがずれ込むという事です。これまでが高温で雨が多く、空気が乾燥しなかったという事ではないでしょうか。気温の変化が激しいので、体調管理には十分気をつけて頂きたいと思えます。

## 営農サポーター報告会開催

先月25日、平成27年度下期の営農サポーター活動報告会を行いました。組合長をはじめ常務、部長、各関係部署の課長、支所長出席のもと、生産者の皆様からの意見・要望について回答を頂きました。今回は農産・園芸8件、資材・農機・燃料4件、畜産2件、その他8件の意見・要望を皆様から頂きましたが、どれも大変貴重な内容でありました。今後、JA事業を行うなかで組合員に必要とされるJAとなるためには、改善をしていかななくてはならないと感じています。これからも組合員皆様の声を届けてまいりますので、営農サポーターに遠慮なく言って頂きたいと思えます。

## ごぼう情勢

平成27年12月号に掲載した通り、業務加工向けの供給が不足している状況は変わっておらず、Mサイズまで業務加工向けに供給している状況です。一方で主体であるM、2M以下の細物については、末端での売れが悪く、販売が苦戦しています。

青森県産ごぼうの最終出荷は、3月末から4月上旬頃予定とされていますが、一部太物をストックしている業者もいるとのこと。

現在は水田ごぼうの出荷もありますが、各産地とも潤沢な出荷が行われており、荷動き優先の販売となっています。

## おたずねください 農業資金のこと!!

なるべく低金利で

設備投資は長期資金で

必要な時に運転資金を

皆さまの農業経営に合った資金をご提案いたします。規模拡大、設備投資、農業機械購入などをご検討の際には、是非ともご相談ください。ご希望があれば、融資課職員がご自宅まで訪問いたします。

【農業資金 例】

農業近代化資金	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備資金から運転資金まで様々な資金使途に利用できる長期・低金利の制度資金です。</li> <li>条件により最大1.0%（当初5年間）利子助成の対象となります。</li> </ul>
JA農機ハウスローン	<ul style="list-style-type: none"> <li>農機具・ハウス取得のための使いやすいJAプロパー資金です。</li> <li>JAプロパー資金のため、スピーディな対応が可能です。</li> <li>条件により最大1.0%（当初3年間）利子助成の対象となります。</li> </ul>

## 新肥料紹介

◇豚糞にラクト菌を添加し高温発酵及び好気性菌と嫌気性菌による発酵を重ねた土壌微生物を多量に含む発酵肥料です。

- ・ジェーエフユーキ (3.5-6.5-2.0) 20kg
- ・JFユーキペレット (3.5-6.5-2.0) 15kg



## 里芋疫病対策

### ①圃場の準備と植え付け

- ・薬剤の効果的散布の為、10m間隔で散布通路を設けて下さい。
- ・疫病は高湿度で発生しやすいので、排水路をしっかりと確保しましょう。
- ・栽培基準に沿って、地表下15cmに植え付け、菌が容易に出ないようにして下さい。

### ②種芋の選別・洗浄・消毒

種芋を粗選別した後、桶などで洗って土を落とし、浮いたイモは廃棄して下さい。土の塊がついていない状態にし、シャワー等で種子消毒剤がしっかりと付着する状態まで洗浄して下さい。 ※芋の洗浄には、**ケミクロンGの5万倍液（浸種用水消毒濃度）**を使用しましょう。

### 2) さといもで使用できる種芋消毒剤（疫病に登録のある農薬はありません）

薬剤	対象病害	処理濃度	処理法	混用等
ベンレートT水和剤20	黒斑病	種いも重量の0.4~0.5%	種いも粉衣	パダンSG水溶剤を使用するときは、パダンSG水溶剤を先に処理
		20倍	1分間種いも浸漬	
トップジンM水和剤	黒斑病	200~500倍	20~30分間種いも浸漬	パダンSG水溶剤を使用するときは、30分間種いも浸漬で混用可能
パダンSG水溶剤	ネグサレセンチュウ	300倍	30分間種いも浸漬	

### ③地上部防除のタイミング

ジーファンイン水和剤の散布は、発病前からの散布を徹底しましょう。

芽が揃ったら（本葉4枚：4月中～下旬）、初期防除のタイミングです。子いもの肥大期になると株が弱まり、梅雨入りも重なるので、5月中旬からは要注意期となります。

定期的な防除に努めて下さい。薬液を散布する際には、作物の表面だけでなく、葉裏、茎、株元に十分な量が付着するように散布を行って下さい。**展着剤**を加用しましょう。

### ④適正な施肥

疫病が多く発生している畑では作物体内の肥料成分が少なく、また植物体内のリン酸など肥料成分が少ない株で疫病の被害が大きい傾向にあります。土壌診断に基づく適正な基肥施用と追肥は、被害の軽減につながります。『**亜リン酸肥料**』は農薬のような効果はありませんが、散布する事によって、無散布よりも被害の拡大程度が小さくなると言われています。亜リン酸肥料の施用は発根を促し、疫病に強くなると言われているためです。

### 疫病対策資材について

#### 【展着剤スカッシュ】

- ・優れた濡れ性を有し乾きも早く、果菜類の汚れ軽減が期待できる機能性展着剤です。（希釈倍数：1,000~2,000倍）



#### 【亜リン酸配合液肥】

- ・エレマックス黄 (4-30-20)
  - ・エレマックス赤 (0-28-26)
  - ・ホスプラス (0-31-25)
- 希釈倍数：1,000倍 使用回数：6回以内 使用時期：収穫1ヶ月前迄



※亜リン酸液肥と銅剤（ジーファンイン水和剤等）の混用は薬害が発生する恐れがあるので避けてください。亜リン酸は植物体内で農薬成分に変化しますので、収穫1ヶ月前迄の施用と、栽培管理記録簿への記載を遵守して下さい。過剰な施用は害になりますので、使用回数は商品の指定に従って下さい。

（文書取扱：JA都城 営農企画室） 事務所の電話番号は38-6693です

通信内容のご相談は営農サポーター：

までご連絡ください